

館 報

平成 2 7 年度



川越市立博物館

目 次

1 . 博物館基本構想	1
2 . 沿革	3
3 . 施設概要	
(1) 川越市立博物館	7
(2) 川越城本丸御殿	9
(3) 川越市蔵造り資料館	10
4 . 運営・管理	
(1) 組織と事務分掌	14
(2) 博物館協議会	15
(3) 博物館予算（当初予算）	15
(4) 入館者の状況	16
(5) 入館券販売状況	17
(6) 入館者数の推移	18
(7) 刊行物	19
展示図録等	19
学校教育のための博物館の手引き『やまぶき』	21
文書目録等	22
博物館だより	24
5 . 展示事業	
(1) 企画展示等	27
(2) ふるさとのまつりコーナー展示	35
(3) ギャラリー展示	35
6 . 教育普及事業	
(1) 講座・教室等の開催	36
子どもを対象とした事業	36
大人を対象とした事業	36
(2) 博物館ボランティア	39

ジュニアボランティア	39
市民ボランティア	39
(3) 博物館同好会	40
(4) 松平大和守家文書を読む会	40
7 . 学校教育との連携事業	
(1) 学校教育との連携事業	41
学校の利用状況	41
バス利用による博物館学習	41
小学校社会科「県内の特色ある地域」の 学習を目的とした学校への支援	41
博物館職員による訪問授業	42
(2) 教員対象の連携事業	42
博物館利用研究委員会	42
川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー	43
授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会	43
(3) 研修会等の受け入れ	44
川越市立小・中学校初任者研修	44
埼玉県教員初任者研修	44
社会体験事業	44
姉妹・友好都市交流事業	45
(4) 博物館実習	45
8 . 資料の収集保管・活用	
(1) 資料の収集	45
平成 27 年度購入資料	45
平成 27 年度寄贈資料	45
平成 27 年度末現在の収蔵資料（整理済分）	46
(2) 収蔵目録の作成	46
(3) 資料特別利用	46
(4) 資料館外貸出	46
(5) 撮影・取材協力	46
9 . 利用案内	
(1) 入館料	47

1 . 博物館基本構想

設置の目的

川越市には、先人の残した歴史的遺産が今なお多くあり、その一部は貴重な文化財として指定され保存と活用が図られている。更に、効果的に活用し、教育・学術・文化の発展に寄与するためには、文化財資料の収集・保存、調査・研究、教育普及活動の充実が望まれる。

しかし、今までそれらに関する施設に乏しく、市民の要望を十分に満たしえない状況にあった。

この度、市制 60 周年記念事業の一環として、生涯学習のかなめとなる川越市立博物館が設置されたのは、こうした状況をふまえ、市民一人一人の人間性豊かな教育と文化づくりをめざし、郷土川越の歴史と文化に対する認識を深め、郷土に誇りを持ち、市民の愛郷心の育成に資することを目的としたものである。

基本的性格

川越市の歴史を理解することにより、現在の姿を明らかにし、市民が将来の暮らしと文化を創造することに役立つ博物館とする。

- 1 . 川越市の歴史と文化が総合的に理解できる博物館とする。
- 2 . 考古、歴史、民俗、美術・工芸等を扱う人文系歴史博物館とする。
- 3 . 市民が自主的に参加できる博物館とし、市民の知的レクリエーションのセンターとして、誰もが親しめる開かれた生涯学習の場とする。
- 4 . 児童・生徒等の学習活動を援助しうる博物館とする。
- 5 . 市内外の文化財関係施設と連携をとり、文化財の有効な活用を図る。
- 6 . 博物館・文化財関係の情報サービスを整備・充実して利用者の便宜を図る。
- 7 . 他の関係機関との連携を密にし、館みずからも時代の進展と市民の要請に対応して発展できる力を備える。

博物館の機能

1 . 資料の収集、調査・研究

川越市を中心的な収集地域とし、更に川越に関係のある郷土資料を広範囲かつ系統的に収集し調査研究する。

考古、歴史、民俗、美術・工芸等の資料およびこれに関する複製品等の他、写真・テープ等の二次資料も収集する。特に、近世の資料に重点を置く。

2 . 保存管理

収集資料は、分類整理のうえ収蔵庫等で保存・管理し、保存環境・資料変化を監視し保存の万全を図る。

台帳を整備し、統一的な保存管理を行うとともに、常設展示資料の保存を考え計画的な管理を行う。

3．展示事業

博物館基本構想をふまえ、理解しやすく、親しみやすい博物館の展示を考える。

特別展示・企画展示は、常設展示を更に深めると共に、新しい資料の紹介や市民の要望等価値観の多様化に対応できるものを企画する。

4．教育普及事業

講座・講演会・研究会・映写会・体験学習ほか各種研修会等を教育的配慮のもとに行うと共に、これら事業に必要な教材・教具の開発・製作を行う。

博物館事業に対する理解と啓蒙を深めるために、各種の印刷物等を刊行し情報を提供する。

学校教育・社会教育への指導・援助・協力の他必要な活動を行う。

展示の基本理念

1．常設展示では、川越地方の歴史の発展と文化の変遷を系統的に位置付けて展示する。展示の構成としては、原始・古代、中世、近世、近・現代の歴史展示および民俗展示とし、川越地方の歴史が総合的に理解できるようにする。

特に、近世に重点を置く。また、美術・工芸は歴史資料としての観点から取り扱い、おおむね近代までのものとする。

2．原始・古代では、発掘調査等の成果を活用し、当時の生活・文化の様相を展示し、中世では、平安末期から戦国期に至る川越地方の武家社会の成立過程を展示する。近世では、江戸を支えた城下町川越の生活・文化の特色、近代では、産業の振興を中心に市制の発展過程と生活・文化の様子を展示する。

民俗では、今日の川越の特色をつくってきた職人の技、そして村方・町方の生活文化を支えてきたさまざまな祭り等の儀礼を計画的に展示する。

(平成2年3月)

2. 沿革

- 昭和53年12月 川越市郷土博物館建設資金積立基金条例を制定する。
- 昭和56年 8月 川越市郷土博物館基本構想検討委員会規則を制定する。
- 昭和57年 1月 川越市郷土博物館基本構想検討委員会に「地域文化の創造ならびに生涯学習施設の一環として郷土博物館の基本理念は如何にあるべきか。」を諮問する。
- 3月 川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を制定する。
- 9月 答申書「川越市立博物館基本構想」を提出する。
- 昭和58年 3月 川越市総合計画基本計画に博物館新設構想が組み込まれる。
- 4月 川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を廃止し、川越市立博物館建設委員会条例を制定する。
- 9月 川越市立博物館建設委員会委員20名を委嘱する。
- 11月 博物館準備室を社会教育課内に設置する。
- 昭和59年 4月 博物館準備室兼務職員辞令発令（室長以下3名）
- 昭和60年 4月 博物館準備室を旧市立図書館内に置く。（室長以下5名、内指導主事1名・学芸員1名）
- 6月 川越市立博物館建設委員会が建設位置について市長あてに要望書を提出する。（候補地は市民グラウンドとする）
- 12月 博物館準備室が旧市立図書館から川越小学校内へ移転する。
- 昭和61年 4月 博物館準備室職員は室長以下7名となる。（内指導主事1名・学芸員3名）
- 8月 川越市立博物館建設委員会が中間答申を提出する。
- 8月 建設基本設計は指名設計競技（指名コンペ）により実施することを決定する。
- 10月 展示基本設計は計画提案（プロポーザル）により実施することを決定する。
- 11月 （仮称）川越市立博物館展示指名設計競技業者説明会を開催す（7社参加）
（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技作品受付。
- 12月 （仮称）川越市立博物館展示指名設計競技審査会を開催する。株式会社丹青社に決定。
- 12月 （仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ業者説明会を開催する。（11社参加）
- 昭和62年 2月 （仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ作品受付。（9社参加）
- 3月 （仮称）川越市立博物館建築指名設計競技審査会を開催する。株式会社建築研究所アーキヴィジョンに決定。

- 昭和 63 年 2 月 臨時市議会において博物館新築工事請負契約が議決される。
 ・ 仮称川越市立博物館新築工事：佐田建設株式会社
 ・ 同 電気設備工事：共和・荻野特別共同企業体
 ・ 同 空調その他設備工事：第一・石塚特別共同企業体
- 3 月 博物館建設工事の起工式が行われる。
- 1 2 月 定例市議会において展示工事請負契約が議決される。
 ・ 仮称川越市立博物館展示工事：株式会社丹青社
- 平成 元年 4 月 博物館準備室職員、室長以下 11 名となる。
 7 月 博物館建築関係工事が完了する。
 8 月 博物館準備室が博物館内に移転する。
 9 月 川越市立博物館建設委員会が第 2 次中間答申を提出する。
 9 月 学校との連携を進めるために博物館利用研究委員会を設置する。
- 1 2 月 川越市立博物館条例が制定される。
- 平成 2 年 2 月 川越市立博物館建設委員会が最終答申を提出する。
 2 月 展示工事が完了する。
 2 月 28 日 川越市立博物館竣工式典を開催する。
 3 月 1 日 川越市立博物館が開館する。開館記念特別展を開催する。
 7 月 開館以来の入館者が 10 万人となる。
- 1 1 月 博物館の建物が埼玉景観賞に選ばれる。
- 平成 3 年 3 月 『やまぶき 学校教育のための博物館活用の手引き』を発行する。
- 平成 4 年 5 月 川越ライオネスクラブ結成 5 周年を記念して、「石の長いす」2 基の寄贈を受ける。
 7 月 市制施行 70 周年を記念して、川越市自治会連合会より「シラカシ」の寄贈を受ける。
- 1 1 月 川越城本丸御殿南門設置工事を実施する。
- 1 2 月 川越市立博物館が登録博物館として登録される。
- 平成 5 年 1 月 開館以来の入館者が 50 万人となる。
 3 月 市制施行 70 周年を記念して、川越造園組合より「けやき」と「水琴窟」の寄贈を受ける。
 3 月 川越中央ライオンズクラブより、川越城本丸御殿玄関脇に「コウヤマキ」の寄贈を受ける。
- 1 2 月 「初雁文化章受章者三人展」展示図録が、第 35 回全国カタログ・ポスター展（主催：日本印刷産業連合会他）で通商産業省生活産業局長賞を受賞する。
- 1 2 月 川越市立博物館が第 4 回公共建築賞（主催：社団法人公共建築協会）で優秀賞を受賞する。
- 平成 7 年 9 月 開館 5 周年記念特別展を開催する。
 1 1 月 開館以来の入館者が 100 万人となる。

- 1 1月 川越市立博物館が平成 7 年度教育功労者及び優良教育施設・団体表彰式で表彰される。
- 平成 8 年 4月 アイスランド共和国大統領が来館する。
- 5月 川越市立博物館制作のビデオ作品「新河岸川の舟運」が、埼玉県
の平成 7 年度市町村広報コンクール広報ビデオ委託制作の部で特選と
なる。
- 8月 川越市立博物館制作の「新河岸川の舟運」が、平成 7 年度全国広報
コンクール（主催：社団法人日本広報協会）の広報ビデオ委託制作
の部で入選する。
- 平成 10 年 9月 台湾地域民俗文物協会の「日本の民俗文物館視察団」が来館する。
- 平成 11 年 5月 開館以来の入館者が 150 万人となる。
- 平成 12 年 6月 展示解説指導員による常設展示定時解説を始める。
- 1 0月 開館 10 周年特別展を開催する。
- 平成 13 年 2月 博物館資料管理システムを導入する。
- 4月 市内小中学校に Eメールによる情報提供を開始する。
- 8月 平成 12 年度埼玉県教育広報コンクールにおいて「博物館だより」
が入賞する。
- 1 1月 博物館同好会による「博物館文化祭」を開催する。
- 1 1月 埼玉大学とフレンドシップ事業を実施する。
- 平成 14 年 4月 学校週 5 日制が完全実施されるのに伴い、土曜体験教室を月 2 回
（第 2・第 4 土曜日）実施とする。
- 1 1月 博物館協議会に「博物館の常設展示の在り方について」を諮問する。
- 1 2月 1 日 川越市立美術館が開館する。
- 平成 15 年 4月 開館以来の入館者が 200 万人となる。
- 5月 小中学生の博物館・川越城本丸御殿・蔵造り資料館の入館料を無料
とする。
- 平成 16 年 3月 博物館協議会が「博物館の常設展示の在り方について」を答申する。
- 1 0月 入間川流域の 4 市 1 村（川越市・狭山市・入間市・飯能市・名栗村）
の合同企画展示「入間川再発見！ - 身近な川の自然・歴史・文化を
さぐって - 」を開催する。
- 平成 17 年 2月 川越市立博物館常設展示検討委員会を設置する。
- 1 1月 「川越市立博物館協議会の委員の公募に関する実施要領」を定め、
平成 18 年度より博物館協議会委員の公募を始める。
- 平成 18 年 2月 川越城が財団法人日本城郭協会より「日本 100 名城」の選定を受け
る。（平成 19 年 6 月より 100 名城を探訪するスタンプラリーが開始
される。）
- 4月 博物館市民ボランティアによる本丸御殿・蔵造り資料館ガイドを開
始する。

- 7月 博物館のホームページを全面リニューアルし、現在のホームページアドレス (<http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>) となる。
- 平成19年 3月 行啓幸を記念して、川越緑地協会より「松」の寄贈を受ける。
- 11月 平成19年度市町村立美術館活性化事業第8回共同巡回展「北大路魯山人 世田谷美術館所蔵塩田コレクション」(助成：財団法人地域創造)を市立美術館と共同で開催する。
- 12月 開館以来の入館者が250万人となる。
- 平成20年 6月 サツマイモ資料館が閉館となり、収蔵資料が博物館に寄贈となる。
- 10月 川越城本丸御殿保存修理工事が始まる。
- 平成21年 3月 常設展示検討委員会が「常設展示見直しの基本計画について」を提出する。
- 平成22年 8月 博物館情報のメール配信サービスを開始する。
- 10月 開館20周年特別展を開催する。
- 11月 川越市立博物館常設展示改装等庁内検討委員会を設置する。
- 平成23年 3月 川越城本丸御殿保存修理工事が竣工する。
- 10月 埼玉県立川越高等学校創立110周年を記念して、同校同窓会より川越城図の碑の寄贈を受ける。(川越城本丸御殿正面南側に設置)
- 平成24年 3月 博物館協議会と常設展示検討委員会が「川越市立博物館常設展示見直しに関する提言」を提出する。
- 平成24年 7月 蔵造り資料館添屋まちなみ散策ステーション「ぷらっと」を開設。蔵造りの町並みを楽しむための散策マップ等を設置。
- 平成25年 7月 開館以来の入館者が300万人となる。
- 平成26年 10月 柳澤吉保没後300年記念特別展を市立美術館と共同で開催する。
- 平成27年 10月 開館25周年特別展を開催する。

3. 施設概要

(1) 川越市立博物館

所在地 川越市郭町2丁目30番地1

敷地面積 8136.47 m²

建築面積 3368.11 m²

延床面積 3985.97 m²

構造規模 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄骨造

建物高 16.20m 階数 地上3階・地下1階

各室面積 展示部門

常設展示室 982.43 m² 特別展示室 232.06 m² ギャラリー 195.68 m²

展示準備室 46.44 m² 展示ホール・受付 65.77 m²

教育普及部門

視聴覚ホール 117.00 m² ビデオルーム 60.36 m² 映写室 14.96 m²

体験学習室 123.14 m² 図書閲覧室 39.97 m²

学芸研究部門

文献資料室 39.93 m² 資料調査室 50.11 m² 補修工作室 51.15 m²

スタジオ 29.94 m² 暗室 6.00 m²

保管部門

一般収蔵庫 562.60 m² 特別収蔵庫 122.14 m² 収蔵庫前室 28.61 m²

荷受室 57.30 m² 荷解室 54.60 m² 燻蒸室 25.65 m²

機材庫 20.52 m²

管理・一般部門

事務学芸員室 95.25 m² 応接室 29.19 m² 会議室 54.66 m²

休養室 15.38 m² シャワー室・脱衣室 5.28 m² 湯沸室 3.60 m²

更衣室 12.37 m² 職員用便所 17.34 m² 廊下 184.14 m²

喫茶室 76.09 m² 厨房 10.20 m² エントランスホール 184.84 m²

風除室 11.70 m² 来館者用便所 34.05 m² 身障者用便所 4.84 m²

ミュージアムショップ 4.18 m² 倉庫 16.55 m² エレベータ室 29.20 m²

エレベータ前室 32.52 m² エレベータ機械室 15.22 m²

空調機械室 (B1F) 119.80 m² 空調機械室 (2F) 12.47 m²

機械室 (3F) 28.50 m² その他 62.24 m²

建築物外

中庭(1) 84.00 m² 中庭(2) 176.15 m² 体験フィールド 204.00 m²

屋外展示室 143.00 m² 屋外展示室植栽 73.95 m²



工事関係者一覧

設計・監理	株式会社建築研究所アーキヴィジョン
監理	川越市建設部営繕課
建築・外構	佐田建設株式会社
電気	共和・荻野特別共同企業体
空調・給排	第一・石塚特別共同企業体
ガス	株式会社武州瓦斯
収納棚・書架	株式会社ハシモト
CATV 設置工事	D X アンテナ株式会社
展示設計監理	株式会社丹青社
監理	川越市教育委員会博物館準備室
展示工事	株式会社丹青社
ビデオルーム 映像システム 設置工事	埼玉ナショナル通信特機株式会社

建設事業費

(単位：千円)

節	説明	合計金額	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度
委託料 59,750	建築実施設計	32,500	32,500	-	-
	建築工事設計監理	14,400	-	7,200	7,200
	展示実施設計	12,750	2,900	9,850	-
	テレビ電波障害調査	100	100	-	-
工事請負費 1,776,024	本体工事	939,800	20,000	487,000	432,800
	電気工事	104,800	20,000	-	84,800
	空調工事	158,000	20,000	-	138,000
	外構工事(1)	71,266	-	20,000	51,266
	外構工事(2)植栽	31,621	-	-	31,621
	展示工事	400,000	-	20,000	380,000
	積層収蔵庫工事	23,876	-	-	23,876
	Q A 設置等設備工事	37,492	-	-	37,492
	館内電話設置工事	1,082	-	-	1,082
	可動書架設置工事	1,187	-	-	1,187
	博物館ガス工事	4,650	-	-	4,650
	C A T V 設置工事	2,250	-	2,250	-
使用料		10	-	-	10
備品購入費 35,316	事務学芸員室等庁用器具	21,338	-	-	21,338
	視聴覚ホール音響関係	5,120	-	-	5,120
	燻蒸庫	8,858	-	-	8,858
旅費	普通旅費	380	94	149	137
需用費	消耗品他	120	29	10	81
負担金	負担金(水道)	3,000	-	-	3,000
	合計	1,874,600	95,623	546,459	1,232,518

・国庫補助金

公立社会教育施設整備費補助金 129,000 千円

(2) 川越城本丸御殿

所在地 川越市郭町 2 丁目 13 番地 1

敷地面積 2,178 m²

延床面積 802.06 m²

構造 木造平屋建

建築年代 嘉永元年 (1848)



文化財指定 [名 称] 川越城本丸御殿及び家老詰所

[指定年月日] 昭和 42 年 3 月 28 日、追加指定平成 3 年 3 月 15 日

[指定 番号] 埼文指第 217 号

[種 別] 埼玉県指定有形文化財(建造物)

[員 数] 2 棟

概要 沿革 川越城本丸御殿は、川越藩主松平斉典が嘉永元年 (1848) に造営したものがある。現在はその玄関部分と家老詰所が保存されており、それらは埼玉県指定文化財となっている。現存する建物は、当時の御殿 16 棟 1,025 坪の一部で、唐破風造りの玄関と広間・鎗之間・使者之間・使番詰所・番拔老躰詰所・物頭詰所・徒詰所・坊主部屋などの諸部屋及び昭和 63 年度に移築復元された家老詰所である。

川越城は明治維新後荒廃が進み、明治 3 年 (1870) には建物等を廃棄して城地を開墾することが許可されている。明治 4 年の廃藩置県により、川越藩が川越県となりやがて入間県になると、入間県庁が本丸御殿の玄関部分で開庁した。その後建物は入間郡公会所となり、明治 14 年から 19 年まで入間高麗郡立中学校として使われた。明治 32 年県立川越中学校 (現県立川越高校) 開設にともない、入学試験と始業式がここで行われた。その後、大正 7 年 (1918) から昭和 7 年 (1932) まで専売局淀橋支局川越分工場として煙草工場となった。昭和 8 年には川越地方武道奨励会の修練道場となり、名称も「初雁武徳殿」となる。戦後は市立川越第二中学校 (現市立初雁中学校) の仮校舎・屋内運動場として一時使用された。

主な保存修理工事

昭和 42 年 7 月 ~ 昭和 43 年 2 月 復元修理工事

(総工事費 : 12,660,436 円 ・ 県費補助 : 3,000,000 円 ・ 市 費 : 5,253,986 円 ・ 寄付金 : 4,406,450 円)

平成 20 年 10 月 ~ 平成 23 年 2 月 保存修理工事

(総工事費 : 207,585,000 円 ・ 県費補助 : 95,454,000 円 ・ 市費 : 112,131,000 円)

平成 22 年 7 月 ~ 平成 23 年 2 月 倉庫棟等保存修理工事

(市 費 : 21,210,000 円)

平成 22 年 12 月 ~ 平成 23 年 3 月 中庭等整備工事

(みどりの基金 : 4,971,750 円)

(3) 川越市蔵造り資料館

所在地 川越市幸町7番地9

敷地面積 674.19 m²

延床面積 322.57 m²

構造 土蔵造2階建

建築年代 明治26年(1893)



文化財指定 〔名称〕旧小山家住宅

(店蔵、袖蔵)

〔指定年月日〕昭和56年12月25日

〔指定番号〕川文指第115号

〔種別〕川越市指定有形文化財(建造物)

〔員数〕2棟

文化財指定 〔名称〕旧小山家住宅

(住居棟、一番蔵、二番蔵、三番蔵、便所棟、稻荷社、門、塀)

〔指定年月日〕平成27年11月20日

〔指定番号〕川文指第236号

〔種別〕川越市指定有形文化財(建造物)

〔員数〕6棟4基

概要 沿革 川越市蔵造り資料館は、煙草卸商を営んでいた小山家(屋号「万文」)の屋敷で、明治26年(1893)の大火後に4代目小山文造によって再建された。

通りに面して大小2棟の店蔵が並んでいるが、小さい棟は貸店舗などに利用された添屋と考えられ、明治35年発行の埼玉県営業便覧には「鐵物商」と記載されている。

敷地内には、店蔵に接して2階建ての住居棟(中間・来客用の座敷などで構成されるが、一部現存せず)、その奥に文庫蔵(一番蔵)、井戸館を挟み煙草蔵(二番蔵)、文庫蔵(三番蔵)と続いている。さらにその奥に便所棟がある。店蔵の南にはアーチの門を設け、それに続き敷地の南から西にかけて矩折れにレンガ塀を巡らす。一番蔵の北側にもモルタルを掃き付けたレンガ塀を設けている。稻荷社は、屋敷の南西の隅に溶岩を用いた基壇の上に置かれている。

店蔵は、明治の大火直後の5月に上棟されており、外壁を黒漆喰で仕上げた2階建て、切妻造り平入棧瓦葺きの建物である。棟は現在熨斗積みとなっているが、当初は箱棟となっていた。また、2階の開口部を観音開きとし、霧除けを設けていることが特徴的である。

ここは、昭和46年(1971)に民間企業の不動産部に所有が移り競売にかかるころ市民の保存をもとめる声に押されて、昭和47年に川越市土地開発公社が買収。

その後、民間の料亭に貸し出されることとなり住居棟の一部が解体された所で、再び市民運動により貸し出しは中止となった。

昭和 52 年、土地開発公社から川越市に移管され、同年 10 月に管理運営を一任された川越市文化財保護協会が「蔵造り資料館」としてオープンさせた。昭和 58 年（1983）10 月からは、川越市教育委員会が引き継ぎ、平成 2 年（1990）からは当博物館が分館として運営している。

「添屋」は平成 15 年から「幸町観光案内所」として使用されていたが、平成 23 年度末に移転したため、平成 24 年 7 月 29 日から「まちなみ散歩ステーションぷらっと」をオープンし、来街者への情報提供を行っている。

昭和 56 年に、店蔵と袖蔵が市指定文化財となり、平成 11 年には、伝統的建造物群保存地区の決定に伴い店蔵他 6 棟とレンガ塀が伝統的建造物として特定された。さらに、平成 27 年に至り、住居棟から稲荷社まですべての建造物が、川越町屋の全容を示すものとして市の文化財指定を受けた。

平成 26 年度からは、国の「文化財建造物等を活用した地域活性化事業」の補助を受け、耐震化事業に着手している。

主な履歴

- ・昭和 47 年 川越市土地開発公社買収
- ・昭和 50 年 伝統的建造物群保存地区保存対策調査実施
- ・昭和 51 年 修復工事完了
- ・昭和 52 年 蔵造り資料館開館 川越市文化財保護協会の運営
- ・昭和 56 年 店蔵及び袖蔵が市指定文化財となる
- ・昭和 58 年 川越市教育委員会が運営を引き継ぐ
- ・昭和 61 年 1 月～3 月 蔵造り資料館住居棟改修工事（工事費 9,630,000 円）
半解体工事を実施
- ・昭和 61 年 12 月～昭和 63 年 3 月 蔵造り資料館便所新築工事（工事費 4,040,000 円）
来館者用便所の新設
- ・昭和 63 年 1 月～3 月 蔵造り資料館下屋改修工事（工事費 2,970,000 円）
一番蔵の前の庇他改修、外便所補修
- ・平成 2 年 川越市立博物館の分館的施設になる。
- ・平成 7 年 12 月から平成 8 年 3 月 蔵造り資料館中庭工事（工事費 4,377,500 円）
中庭の修景実施
- ・平成 10 年 12 月～平成 11 年 2 月 川越市蔵造り資料館二番蔵補強工事（工事費 4,410,000 円）
二番蔵の継ぎ手仕口等の補強

- ・平成 11 年 4 月 川越市川越伝統的建造物群保存地区決定に伴い店蔵ほかが伝統的建造物に特定される。
- ・平成 11 年 12 月 川越市川越重要伝統的建造物群保存地区に選定される。
- ・平成 26 年 耐震化事業開始
- ・平成 27 年 11 月 敷地内のすべての建造物が市指定文化財に指定される。

耐震化事業

- ・平成 25 年度
 - 5 月 「文化財建造物等を活用した地域活性化事業費国庫補助要綱」設置（文化庁）
 - 8 月 蔵造り資料館耐震事業に係る関係課会議開催
- ・平成 26 年度
 - 4 月 川越市蔵造り資料館耐震化事業庁内検討委員会設置要綱設置
 - 4 月 第 1 回庁内検討委員会開催
 - 6 月 第 1 回川越市蔵造り資料館利活用庁内検討委員会開始
 - 9 月 川越市蔵造り資料館耐震診断調査業務委託発注
 - 受託者 日本建築研究所
 - 委託額 15,868,224 円
 - 11 月 第 2 回庁内検討委員会開催
 - 1 月 第 2 回川越市蔵造り資料館利活用庁内検討委員会開催
 - 3 月 第 3 回庁内検討委員会開催
- ・平成 27 年度
 - 7 月 川越市蔵造り資料館耐震診化等設計業務委託発注
 - 受託者 日本建築研究所
 - 委託額 12,887,640 円
 - 8 月 第 1 回庁内検討委員会開催
 - 10 月 第 2 回庁内検討委員会開催



住居棟



一番蔵



二番蔵



三番蔵



外便所



稲荷社

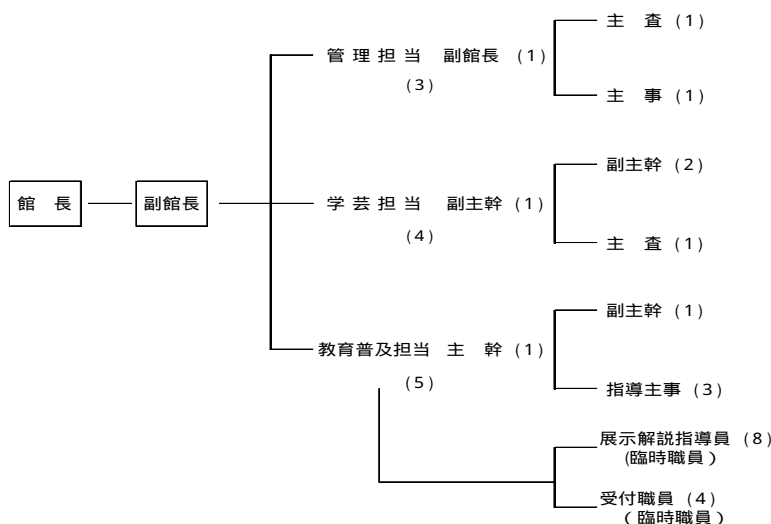


レンガ塀

4 . 運営・管理

(1) 組織と事務分掌

組織 (平成 27 年 4 月 1 日)



事務分掌

[管理担当]

- ・ 博物館協議会に関すること
- ・ 保守管理に関すること
- ・ 博物館予算に関すること
- ・ 備品に関すること
- ・ 防災計画に関すること
- ・ 文書管理に関すること
- ・ 入館統計並びに入館料に関すること
- ・ 工事に関すること
- ・ 減免申請に関すること
- ・ 博物館要覧、館報に関すること

[学芸担当]

- ・ 常設展示室の維持管理に関すること
- ・ 借用資料等の保険に関すること
- ・ 資料の収集保存に関すること
- ・ 燻蒸に関すること
- ・ 資料の貸し出しに関すること
- ・ 収蔵庫の整理に関すること
- ・ 特別展、企画展に関すること
- ・ 資料の調査研究に関すること
- ・ 分館の展示に関すること
- ・ 研究図書に関すること
- ・ 資料の利用許可に関すること
- ・ 博物館実習に関すること
- ・ 広報に関すること

[教育普及担当]

- ・ 講座、研究会に関すること
- ・ チラシ、各種パンフレットに関する
こと
- ・ 視聴覚ホールの運営に関すること
- ・ 社会教育施設との連携に関すること
- ・ 閲覧室用図書室の管理について
- ・ 学校教育との連携に関すること
- ・ 展示解説に関すること
- ・ 体験学習室に関すること
- ・ 他の博物館等との連携に関すること

(2) 博物館協議会
委員

会 長	井 上 浩	
副会長	林 宏 一	
	能 瀬 さち子	
委 員	平 岡 健	服 部 安 行
	中 村 健 二	市 川 常 善
	佐 野 貴 仁	川 村 豊 二
	肥 沼 靖 久	桑 原 政 則
	大 金 正 司	野 本 一 史
	松 本 紀美子	村 上 直

協議事項

開 催 日	会 議 内 容
7月22日(水)	報 告 平成26年度事業報告について 平成27年度事業計画について
11月11日(水)	報 告 入館状況(4月~10月) 平成27年度博物館事業(中間報告)について
2月17日(水)	報 告 平成28年度博物館事業計画について

(3) 博物館予算(当初予算)

(千円)

		当初予算額
博物館管理費		98,970
内 訳	博物館等運営管理	80,564
	博物館の充実	13,849
	資料収集保存・調査研究	4,557

(川越城本丸御殿及び川越市蔵造り資料館を含む)

(4) 入館者の状況
博物館

月	開館 日数	有 料 入 館 者														無 料 入 館 者				入館者 合 計	1日 平均	
		単館券		団体		2館券		3館券		4館券		5館券		他館共通		有 料 入 館 者 合 計	一 般	大 学 高 校	中 学 以 下			無 料 入 館 者 合 計
		一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校							
4月	25	1,519	92	37	0	201	4	276	13	27	0	35	0	1,070	53	3,327	1,123	139	823	2,085	5,412	216
5月	26	1,939	117	91	0	251	21	433	28	42	4	89	4	1,750	117	4,886	1,307	142	3,812	5,261	10,147	390
6月	18	662	66	90	0	120	3	198	5	10	0	18	15	733	46	1,966	1,161	0	5,003	6,164	8,130	452
7月	24	1,837	187	87	1	207	6	195	20	34	5	27	0	833	70	3,509	1,214	43	2,292	3,549	7,058	294
8月	25	3,988	453	4	0	451	38	366	61	29	14	48	1	1,312	142	6,907	1,315	43	2,194	3,552	10,459	418
9月	25	1,966	153	184	0	182	15	353	20	38	7	41	1	1,382	114	4,456	1,200	36	1,796	3,032	7,488	300
10月	27	1,853	52	352	0	169	0	368	9	21	0	58	0	1,153	55	4,090	1,617	44	4,718	6,379	10,469	388
11月	24	1,731	60	333	0	138	4	323	15	17	3	21	3	1,033	46	3,727	2,354	44	4,906	7,304	11,031	460
12月	23	616	97	0	0	80	22	151	20	6	0	16	3	555	42	1,608	2,036	85	2,027	4,148	5,756	250
1月	23	1,509	59	434	0	145	8	231	10	14	4	29	0	895	41	3,379	889	2	3,255	4,146	7,525	327
2月	23	1,765	82	113	0	216	21	248	24	20	0	55	1	1,067	78	3,690	1,058	123	5,059	6,240	9,930	432
3月	26	1,147	102	147	0	138	9	282	23	12	2	30	30	1,069	80	3,071	842	0	707	1,549	4,620	178
合計	289	20,532	1,520	1,872	1	2,298	151	3,424	248	270	39	467	58	12,852	884	44,616	16,116	701	36,592	53,409	98,025	339

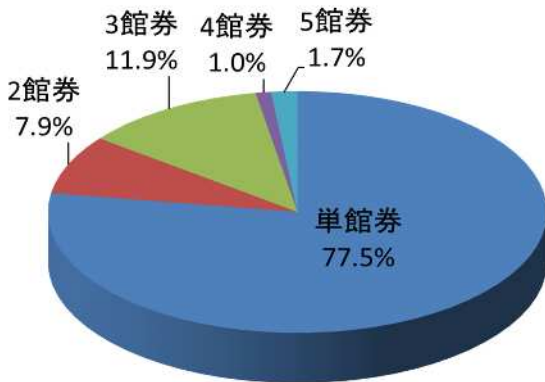
本丸御殿

月	開館 日数	有 料 入 館 者														無 料 入 館 者				入館者 合 計	1日 平均
		単館券		団体		3館券		4館券		5館券		他館共通		有 料 入 館 者 合 計	一 般	大 学 高 校	中 学 以 下	無 料 入 館 者 合 計			
		一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校	一 般	大 学 高 校								
4月	25	7,390	265	269	0	659	22	51	5	92	0	560	40	9,353	667	35	1,031	1,733	11,086	443	
5月	26	12,795	574	751	40	1,158	67	97	10	98	5	795	64	16,454	779	312	3,539	4,630	21,084	811	
6月	24	6,265	215	768	18	473	40	28	2	16	0	309	31	8,165	549	42	4,469	5,060	13,225	551	
7月	26	5,065	279	299	20	489	44	31	4	52	1	366	25	6,675	438	0	2,327	2,765	9,440	363	
8月	25	5,775	625	62	5	608	75	89	6	28	8	522	104	7,907	436	34	1,079	1,549	9,456	378	
9月	25	10,040	545	395	23	912	65	102	10	65	8	565	37	12,767	825	59	2,136	3,020	15,787	631	
10月	27	10,070	305	650	0	713	35	70	1	102	4	677	20	12,647	563	0	3,411	3,974	16,621	616	
11月	24	8,350	277	915	3	714	26	62	2	76	5	542	17	10,989	1,532	25	3,130	4,687	15,676	653	
12月	23	3,930	193	105	0	400	21	32	4	28	1	244	30	4,988	1,603	49	1,225	2,877	7,865	342	
1月	23	6,010	267	643	1	587	30	32	3	35	2	367	22	7,999	343	1	1,666	2,010	10,009	435	
2月	23	7,100	442	283	0	669	47	74	8	53	3	467	33	9,179	341	0	2,278	2,619	11,798	513	
3月	26	8,530	724	339	0	659	44	56	12	66	4	506	72	11,012	372	16	1,250	1,638	12,650	487	
合計	297	91,320	4,711	5,479	110	8,041	516	724	67	711	41	5,920	495	118,135	8,448	573	27,541	36,562	154,697	521	

蔵造り資料館

月	開館日数	有料入館者												無料入館者				入館者合計	1日平均	
		単館券		団体		3館券		4館券		5館券		他館共通		有料入館者合計	一般	大学 高校	中学 以下			無料入館者合計
		一般	大学 高校	一般	大学 高校	一般	大学 高校	一般	大学 高校	一般	大学 高校	一般	大学 高校							
4月	25	2,417	163	78	0	175	19	4	1	13	1	721	29	3,621	148	16	348	512	4,133	165
5月	26	4,404	208	265	73	130	17	11	0	69	3	1,268	85	6,533	430	6	2,707	3,143	9,676	372
6月	24	2,565	124	264	0	68	13	4	0	10	0	531	28	3,607	315	176	3,668	4,159	7,766	324
7月	26	2,096	141	21	12	75	5	3	0	22	0	480	39	2,894	280	0	1,933	2,213	5,107	196
8月	25	2,379	254	7	1	64	20	9	1	23	1	631	86	3,476	173	16	439	628	4,104	164
9月	25	3,597	211	282	0	77	5	14	6	14	0	923	66	5,195	453	0	1,399	1,852	7,047	282
10月	27	3,917	169	546	0	105	4	4	1	23	3	876	40	5,688	509	26	4,846	5,381	11,069	410
11月	24	3,216	169	452	24	88	2	1	0	19	1	729	39	4,740	1,403	47	2,893	4,343	9,083	378
12月	23	1,568	149	152	27	52	6	1	0	12	0	429	27	2,423	2,347	43	1,122	3,512	5,935	258
1月	25	2,434	171	224	0	48	6	3	0	16	0	663	39	3,604	209	0	1,378	1,587	5,191	208
2月	23	2,490	214	140	22	115	9	8	2	2	1	819	64	3,886	249	0	1,881	2,130	6,016	262
3月	26	2,727	265	193	0	74	9	2	2	17	4	751	63	4,107	90	0	461	551	4,658	179
合計	299	33,810	2,238	2,624	159	1,071	115	64	13	240	14	8,821	605	49,774	6,606	330	23,075	30,011	79,785	267

(5) 入館券販売状況
博物館



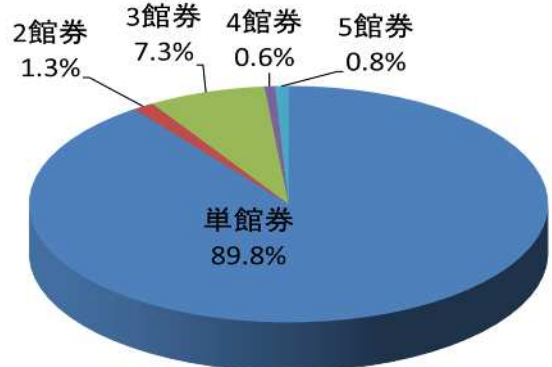
本丸御殿



蔵造り資料館



三館合計



(6) 入館者数の推移

博 物 館					本 丸 御 殿				蔵 造 り 資 料 館			
年度	開館 日数	有 料 入館者数	無 料 入館者数	入館者数 合 計	開館 日数	有 料 入館者数	無 料 入館者数	入館者数 合 計	開館 日数	有 料 入館者数	無 料 入館者数	入館者数 合 計
元	25	15,758	18,796	34,554	25	9,346	1,647	10,993	25	7,744	1,309	9,053
2	293	119,434	54,357	173,791	297	83,452	27,296	110,748	297	84,227	26,023	110,250
3	282	104,495	55,764	160,259	292	84,893	31,891	116,784	292	88,369	31,849	120,218
4	284	113,018	57,392	170,410	289	91,767	32,639	124,406	289	98,093	32,726	130,819
5	282	121,157	53,552	174,709	289	113,158	35,098	148,256	289	113,442	37,563	151,005
6	283	116,985	47,888	164,873	292	111,122	30,120	141,242	292	114,580	33,048	147,628
7	285	117,026	51,299	168,325	288	108,639	33,796	142,435	293	115,092	34,398	149,490
8	282	106,571	44,487	151,058	290	103,440	28,469	131,909	290	114,082	29,668	143,750
9	281	101,908	44,536	146,444	290	101,420	28,870	130,290	290	110,373	30,244	140,617
10	277	94,351	45,434	139,785	289	92,390	28,542	120,932	289	97,035	30,334	127,369
11	280	89,968	48,271	138,239	291	95,682	29,114	124,796	291	94,362	31,148	125,510
12	282	87,474	48,274	135,748	293	90,556	29,793	120,349	293	88,851	31,543	120,394
13	285	75,981	47,835	123,816	297	87,715	30,082	117,797	297	87,164	30,388	117,552
14	287	69,198	44,426	113,624	293	83,286	24,044	107,330	293	80,250	25,509	105,759
15	285	63,365	51,708	115,073	293	84,820	32,554	117,374	293	64,111	32,430	96,541
16	290	52,183	51,176	103,359	298	70,969	29,483	100,452	301	51,561	30,048	81,609
17	291	46,486	51,485	97,971	299	69,783	30,667	100,450	302	46,961	31,086	78,047
18	286	50,284	53,057	103,341	295	77,760	33,135	110,895	299	47,892	29,649	77,541
19	294	54,178	55,549	109,727	303	103,519	35,361	138,880	306	57,311	31,286	88,597
20	289	44,829	49,989	94,818	169	60,953	19,024	79,977	299	53,946	29,437	83,383
21	287	40,489	48,533	89,022	保存修理工事のため休館				298	64,473	29,341	93,814
22	288	30,449	46,714	77,163	5	0	8,669	8,669	297	42,785	27,315	70,100
23	293	35,239	55,507	90,746	300	96,983	40,469	137,452	303	40,200	32,011	72,211
24	291	40,394	53,924	94,318	298	94,967	35,625	130,592	301	42,879	32,089	74,968
25	285	39,558	51,799	91,357	296	101,815	34,474	136,289	299	47,042	31,589	78,631
26	292	41,498	56,707	98,205	299	100,104	36,565	136,669	302	45,434	32,812	78,246
27	289	44,616	53,409	98,025	297	118,135	36,562	154,697	299	49,774	30,011	79,785
計	7,468	1,916,892	1,341,868	3,258,760	6,967	2,236,674	763,989	3,000,663	7,719	1,948,033	804,854	2,752,887

(7) 刊行物
展示図録等

発行年度	回数等	刊行物名称	備考
平成元年度	開館記念特別展	職人絵 姿絵にみる匠の世界	
2年度	第1回企画展	うまどしの絵馬展 - その祈りとかたち -	売切れ
	第2回企画展	写真展 明治・大正・昭和の川越	
	第2回特別展	川越の指定文化財	
	開館1周年記念 第3回企画展	松平周防守と川越藩	
3年度	第4回企画展	美の先達者たち 鏡にみる日本の美と心	
	第3回特別展	川越の生んだ鬼才 岩崎勝平	
	市制施行70周年記念 第5回企画展	川越城 失われた遺構を探る	売切れ
		常設展示図録	
4年度	市制施行70周年記念 第4回特別展	川越ゆかりの画人たち 近世から近代に活躍した11人の精華 川越ゆかりの近代日本画の巨匠 橋本雅邦と小茂田青樹	
	市制施行70周年記念 第6回企画展	川越の名刀展	
	市制施行70周年記念	初雁文化章受章者三人展	売切れ
5年度	第5回特別展	三芳野神社の社宝	
6年度	没後30年記念	岩崎勝平 その芸術と生涯	
	第8回企画展	川越学事始め 郷土史の系譜を追う	
7年度	開館5周年記念特別展	酒井忠勝にみる近世大名の姿 川越藩祖酒井家ゆかりの品々	
	第9回企画展	古墳時代の川越	売切れ
8年度	第10回企画展	町割から都市計画へ 絵地図でみる川越の都市形成史	売切れ
9年度	第11回企画展	川越氷川祭礼の展開	売切れ
	第12回企画展	近世陶磁への招待 陶磁器からみた江戸時代の暮らし	
		講演集	
10年度	第13回企画展	黒船来航と川越藩	
	第14回企画展	中世びとの祈り 仏像・金工品にみる祈りのかたち	
11年度	第15回企画展	悪疫退散・五穀豊穡 川越の獅子舞	
	第16回企画展	河越氏と河越館	売切れ
12年度	開館10周年特別展	徳川三代の時代と川越	
	第17回企画展	歴史探検 縄文時代をゆく	
13年度	第18回企画展	川越の大山信仰	
	第19回企画展	中世びとの祈り 板碑のある風景	
14年度	第20回企画展	市制施行80年 資料でたどる川越市の歩み	
	第21回企画展	はにわは語る	
15年度	第22回企画展	川越の算額と和算家	
	第23回企画展	刀工 藤枝英義とその時代	
16年度	第24回企画展 入間川4市1村合同企画展	「入間川再発見」 - 身近な川の自然・歴史・文化をさぐって -	
	第25回企画展	民間信仰のかたち 地域と講	
17年度	第26回企画展	中世陶磁への招待 地中からのメッセージ	
	第27回企画展	川越の大絵馬 絵柄に託された人々の願い	
18年度	第28回企画展	柳沢吉保と風雅の世界	
	第29回企画展	子どもの世界 祝いと遊び	
19年度	第30回企画展	後北条氏と河越城	
	第8回共同巡回展	北大路魯山人 世田谷美術館所蔵塩田コレクション関連展示 食の器 暮らしの器と魯山人の器	売切れ
20年度	第31回企画展	大名行列 描かれた松平大和守家の行列	
	第32回企画展	諸願成就 だるまさん大集合	

21年度	第33回企画展	川越城本丸御殿の杉戸絵と舩津蘭山	
	第34回企画展	よみがえる河越館跡 国指定史跡河越館跡の発掘 その成果と課題	
22年度	開館20周年記念特別展	知恵伊豆 信綱 - 松平信綱と川越藩政 -	
	第35回企画展	川越城本丸御殿竣工記念 川越城 - 描かれた城絵図の世界 -	
23年度	第36回企画展	名主奥貫友山と寛保2年の大水害	
	市制施行90周年記念 第37回企画展	建築家保岡勝也の軌跡と川越	
		川越城本丸御殿保存修理工事記録DVD	売切れ
		川越城本丸御殿保存修理工事報告書	売切れ
		川越城が知りたい!	
24年度	市制施行90周年記念 特別展	譜代大名秋元家と川越藩 - 川越織物の礎を築いた大名秋元家 -	
	第38回企画展	新河岸川舟運と川越五河岸のにぎわい	
25年度	第39回企画展	戦国時代の河越 - 城・城下・村 -	
	第40回企画展	絵図で見る川越 - 空から眺める江戸時代の川越 -	
26年度	柳澤吉保没後300年記念 特別展	柳澤吉保とその時代 - 柳沢文庫伝来の品々を中心に -	
	第41回企画展	古代入間郡の役所と道	
27年度	第42回企画展	妖怪 -闇にひそむ不可思議なるもの-	
	開館25周年記念特別展	小堀遠州と川越藩主 - 遠州と酒井忠勝の交流を中心に -	

学校教育のための
博物館の手引き『やまぶき』

	刊行年度	テ　　マ
第1集	平成 2年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第2集	平成 4年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第3集	平成 6年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第4集	平成 8年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第5集	平成10年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第6集	平成11年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 - 総合的な学習の時間における博物館活用の研究・実践
第7集	平成12年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 - 総合的な学習の時間における多様な学習形態の構想と実践 -
第8集	平成13年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 - 基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用 -
第9集	平成14年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 - 基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用 -
第10集	平成16年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 - 郷土川越の学習に直結する効果的な博物館・文化財の活用 -
第11集	平成18年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 - 学校におけるコンピュータを介した博物館資料の活用 -
第12集	平成20年度	コンピュータによる博物館資料を活用した学習指導の在り方
第13集	平成22年度	博物館の常設展示を活用した授業づくり ～新学習指導要領のねらいに迫る博物館資料の活用～
第14集	平成24年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～博物館授業と訪問授業の工夫～
第15集	平成26年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～社会科における博物館資料の効果的な活用～

* 『やまぶき』は博物館利用研究委員会の研究成果をまとめた報告集。博物館利用研究委員会は、教育課程に位置付けた博物館活用を研究するため、市内小・中学校の校長、教頭及び教諭で構成。

文書目録等

名 称	刊 行 年 月
収蔵文書目録(1)伊藤禎二氏寄贈文書目録	平成 2年 3月
収蔵文書目録(2)灌頂院寄託文書	平成 3年 3月
光西寺松井家文書目録	平成 3年 3月
収蔵文書目録(3)入間郡打越村・岸伝平氏収集文書	平成 4年 3月
中福阿弥陀堂文書目録	平成 4年 3月
収蔵文書目録(4)上寺山時田家文書・三芳野神社近代史料	平成 5年 3月
今福山口家文書目録	平成 6年 3月
豊田本自治会保管文書目録	平成 6年 3月
上新河岸遠藤家文書目録	平成 7年 3月
収蔵文書目録(5)比企郡上熊井村文書	平成 7年 12月
収蔵文書目録(6)香取家文書	平成 9年 3月
収蔵文書目録(7)山畠家文書	平成 10年 3月
収蔵文書目録(8)諸家文書	平成 11年 3月
収蔵文書目録(9)山畠家文書追加・小高亨氏寄贈山畠家文書	平成 12年 3月
川越城二の丸発掘調査報告書	平成 12年 3月
古谷上松本家文書目録(1)	平成 13年 3月
古谷上松本家文書目録(2)	平成 14年 3月
南田島自治会保管文書目録・連雀町自治会保管文書目録	平成 15年 3月
川越城跡第4次調査発掘調査報告書	平成 16年 3月
川越城跡第2次調査発掘調査報告書	平成 18年 3月
渡辺刀水収集文書目録	平成 19年 3月
収蔵文書目録(10)元町戸田家	平成 20年 3月
太田家文書目録	平成 21年 3月
収蔵文書目録(11)木村家・山崎家・矢島家・松岡家	平成 22年 3月
収蔵文書目録(12)喜多町染谷家・六軒町中澤家	平成 23年 3月
大中居長嶋家・仙波原家文書目録	平成 24年 3月
菅間竹ノ谷家文書目録	平成 25年 3月
上寺山帯津家文書目録	平成 26年 3月
収蔵文書目録(13)細田源吉文書	平成 27年 3月

収蔵文書目録(14) 大谷家文書・梅田家文書・光西寺松井家文書	平成 28 年 3 月
川越藩松平家記録 一	平成 28 年 3 月
川越喜多町名主御用日記 一	平成 28 年 3 月

博物館だより

号数	発行年度	主 な 内 容
創刊号	平成 2 年 10 月	発刊によせて
2 号	平成 3 年 6 月	第 1 回収蔵品展
3 号	平成 3 年 8 月	市川渡と「博物館」
4 号	平成 4 年 2 月	1 本の円筒埴輪から - 伝 下小坂出土の円筒埴輪について -
5 号	平成 4 年 3 月	川越の生んだ鬼才 - 岩崎勝平
6 号	平成 4 年 8 月	「主図合結記」本の川越城図と静嘉堂文庫蔵「武州川越城図」について
7 号	平成 4 年 12 月	近世から近代に活躍した川越ゆかりの画人たち
8 号	平成 5 年 3 月	川越大火百年 - 大火の歴史と街づくり -
9 号	平成 5 年 11 月	川越に牛が来た頃 - 川越の犁 -
10 号	平成 6 年 2 月	“三芳野神社の謎”のはなし
11 号	平成 6 年 3 月	二代目川越藩主酒井忠利書状について
12 号	平成 6 年 12 月	第 5 回収蔵品展より「安齋家の幻燈機」
13 号	平成 7 年 2 月	「武総将棋手相鑑」と川越（上）
14 号	平成 7 年 3 月	神さま絵かき岩崎勝平 - その芸術と生涯 -
15 号	平成 7 年 11 月	第 8 回企画展「川越学事始め - 郷土史の系譜を追う」
16 号	平成 8 年 3 月	学校の行事に見る子供たちの生活 - 戦時下の川越より -
17 号	平成 8 年 3 月	開館 5 周年記念特別展「酒井忠勝にみる近世大名の姿」
18 号	平成 8 年 8 月	第 9 回企画展「古墳時代の川越」
19 号	平成 9 年 1 月	川越箆笥産業の記録
20 号	平成 9 年 3 月	新発見の氷川祭礼絵巻
21 号	平成 9 年 8 月	第 10 回企画展「町割から都市計画へ - 絵地図でみる川越の都市形成史 -」
22 号	平成 10 年 1 月	第 7 回収蔵品展「暮らしのあかり」
23 号	平成 10 年 3 月	第 11 回企画展「川越氷川祭礼の展開」
24 号	平成 10 年 7 月	川越に残る建物ウオッチング - 川越の洋風建築と保岡勝也 -
25 号	平成 10 年 11 月	江戸リサイクル再考 - 陶磁器の焼継ぎを中心として -
26 号	平成 11 年 3 月	古代の川越のまつり
27 号	平成 11 年 7 月	下小坂の獅子舞
28 号	平成 11 年 11 月	武州高麗郡下小坂村絵図について
29 号	平成 12 年 3 月	川越藩腰物拝見録 - 刀剣から見た近世武家社会 -
30 号	平成 12 年 7 月	中福村絵図について
31 号	平成 12 年 11 月	子ども博物館教室 「川越の歴史探検 - ピンホールカメラを作って文化財を写そう -」
32 号	平成 13 年 3 月	石仏のはなし
33 号	平成 13 年 7 月	木野目村絵図に描かれた情報を読む
34 号	平成 13 年 11 月	博物館資料から児童・生徒の見学学習のネタをさがして - 鏡のはなし -
35 号	平成 14 年 3 月	新たに確認された大山灯籠と奉納木太刀
36 号	平成 14 年 7 月	出前授業 - その実践と雑感 -
37 号	平成 15 年 1 月	近代化と赤煉瓦

38号	平成15年3月	武州河越住則重考 - 後北条氏配下の刀工たち -
39号	平成15年7月	橋本雅邦「画宝会席画筆記 附起源一」記録について
40号	平成15年12月	川越の映画館の変遷
41号	平成16年3月	地口行灯について
42号	平成16年7月	江戸時代川越近郊村々特産の瓜・茄子・青物の出荷について
43号	平成16年12月	刀工藤枝英義とその時代
44号	平成17年3月	第15回ミニ展「むかしの勉強・むかしの遊び」をふりかえって
45号	平成17年7月	川越城築城に関する研究ノート
46号	平成17年12月	教室で授業をするのと同じように博物館を活用してみませんか！
47号	平成18年3月	戦時中の紙芝居と国民
48号	平成18年7月	奈良絵本「ちかはる」について
49号	平成18年12月	野外博物館教室「まちなかの美をあるく」から
50号	平成19年3月	松平周防守家伝来の旗について
51号	平成19年9月	災害と「地域の結びつき」を考える - 川越の火事の記録と記憶から -
52号	平成19年12月	シンポジウム「戦国時代のかわごえ」
53号	平成20年3月	松平大和守侯行列図巻の紹介
54号	平成20年8月	芭蕉百回忌祭文「祭芭蕉翁文」と『俳諧茂、代草』
55号	平成20年12月	本丸御殿を復元する - 古絵図を用いた等角投影図の作成 -
56号	平成21年3月	川越城本丸御殿の杉戸絵
57号	平成21年7月	古文書を読み解く - 沢庵和尚の書状をめぐって -
58号	平成21年12月	国指定史跡河越館跡 - 最新の研究成果と史跡整備 -
59号	平成22年3月	松平大和守家文庫「御在城中年中行事」の紹介
60号	平成22年7月	川越城下の御鷹部屋
61号	平成22年12月	公教育制度のはじまり - 初等教育草創期の学校制度 -
62号	平成23年3月	川越城本丸御殿保存修理工事 - 平成の修理を振り返る -
63号	平成23年7月	同盟通信社川越分室について
64号	平成23年12月	江戸時代の「善行」 - 「武州川越善行録」にみる城下町の人々とくらし -
65号	平成24年3月	鶴と星七宝に四方花菱文様蒔絵鞍・鐙について
66号	平成24年7月	古尾谷八幡神社に残された将軍の朱印状
67号	平成24年12月	川越商工会議所資料について
68号	平成25年3月	新たな博物館学習の展開
69号	平成25年7月	江戸に進出する川越町人
70号	平成25年12月	川越に残る近世・近代の石積とその変遷
71号	平成26年3月	川越時代の大興寺と東照宮の変遷
72号	平成26年7月	伊能図に描かれた川越
73号	平成26年12月	伝えられた歴史文化 「初雁」の由来から紐解く

74号	平成27年3月	新指定文化財「葵御紋大旗」の再考
75号	平成27年8月	「大家」墨書土器から川越の古代史を考える
76号	平成27年12月	川越藩士の神隠し 安政五年皆川市郎平の一件から
77号	平成28年3月	「家康天海対座図」の紹介

5. 展示事業

(1) 企画展示等

名称

開館 25 周年記念特別展
「小堀遠州と川越藩主 - 遠州と酒井忠勝の交流を中心に - 」
特別後援：遠州茶道宗家

会期

平成 27 年 10 月 10 日(土) ~ 11 月 15 日(日)
開催日数 32 日間

展示の概要



川越藩主酒井忠勝の交流を中心に
小堀遠州と川越藩主

小堀遠州(1579~1651)は、江戸時代初期の大名で「大名茶」の様式を確立し、「綺麗さび」と呼ばれた茶の湯を創造した茶人として知られています。近年は有能な官僚としての側面が評価され、茶の湯と職務との関連性が重要視されています。遠州は特に徳川家光から重用されたことにより、家光側近衆との交流が行われるようになりました。家光を支えた酒井忠勝、堀田正盛、松平信綱と遠州の交流は、こうした動きによって盛んになりました。

今回の特別展は遠州茶道宗家の協力を得、遠州と忠勝、正盛、信綱との交流、とりわけ忠勝との交流を示す作品を中心に展示をし、新たな遠州像や大名茶の紹介を行いました。そして川越藩主を歴任した3名が、遠州との交流を通して文化面でも重要な役割を果たしたことを再認識していただけるよう企画しました。

展示構成

第1章 大名茶人 小堀遠州 - 新たな遠州像 -

第1節 幕府官僚として

第2節 茶人として

第2章 遠州と川越藩主

第1節 数寄大名 正盛

第2節 新たな信綱の一面

第3章 遠州のよき理解者 忠勝

主な展示資料及び資料点数

- ・【中興名物】膳所瓢箪茶入 銘白雲(「公財」静嘉堂文庫美術館蔵)
- ・油滴天目茶碗 添 芙蓉台(「公財」北村美術館蔵)
- ・膳所光悦茶碗(個人蔵)
- ・酒井忠勝小色紙(「公財」湯木美術館蔵)など64点

入館者数

13,446人(1日平均420人)

印刷物

- ・ポスター A2判 450部
- ・チラシ A4判 6,000部
- ・展示図録 A4判変形 108頁 1,500部

関連事業

記念講演会

- ・期 日 10月10日(土) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 小堀宗実氏(遠州茶道宗家十三世家元)
- ・演 題 「小堀遠州の茶の湯」
- ・参加者 91人

歴史講座

- ・期 日 10月11日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 井口信久(当館職員)
- ・演 題 「特別展の見どころ - 小堀遠州像を中心に - 」
- ・参加者 72人

歴史講座

- ・期 日 10月25日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 深谷信子氏(小堀遠州研究家)
- ・演 題 「遠州の綺麗さびと酒井忠勝」
- ・参加者 63人

歴史講座

- ・期 日 11月8日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 名児耶明氏(「公財」五島美術館副館長)
- ・演 題 「大名茶人遠州の書」
- ・参加者 53人

名 称 第 25 回收藏品展
「モノクロームの追憶 - 当館所蔵の古写真とカメラ - 」

会 期 平成 2 8 年 3 月 2 6 日(土) ~ 5 月 8 日(日)
開催日数 4 4 日間

展示の概要



川越市立博物館では、川越市や周辺地域の方々から、たくさんの貴重な資料等を寄贈・寄託していただいております。これらの資料を広く公開する場として、毎年收藏品展を開催しています。

今回の收藏品展は、「モノクロームの追憶」と題して、明治から昭和期にかけての川越市内の風景や人々の姿を撮影した写真や、その時代に使用されたカメラを中心に展示しました。

展示構成 . モノクロームかわごえ
. カメラのいろいろ
. STUDIO`タイムスリップ` (古写真を背景に写真を撮ろう)

主な展示資料及び資料点数
. 古写真、二眼レフカメラ類など 4 6 点

入館者数 9 , 8 6 2 人(1日平均 2 2 4 人)

印刷物 . ポスター A 2 判 450 部
. チラシ A 4 判 5,500 部
. パンフレット A 4 判 8 頁 3,000 部

関連事業

町なかフォトある記

日時 4 月 1 7 日(日) 午前 10 時 ~ 午後 3 時 30 分

講師 須賀昭夫氏(市内在住の写真家)

参加者 1 6 名

名 称 平成 27 年 新作名刀展 - 現代の刀工と刀職 -

会 期 平成 27 年 9 月 12 日(土) ~ 9 月 27 日(日)
開催日数 13 日間

展示の概要



公益財団法人 日本美術刀剣保存協会との共催により平成 25 年新作名刀展出品作および平成 26 年刀剣研磨外装技術入賞作を展示しました。

展示構成

- ・ 太刀・刀の部
- ・ 短刀の部
- ・ 刀身彫りの部
- ・ 彫金の部
- ・ 刀装の部

主な展示資料及び資料点数

- ・ 新作刀、刀装具等 44 点

入館者数

5,553 人(1 日平均 427 人)

印刷物

- ・ ポスター A2 判 450 部
- ・ チラシ A4 判 5,500 部

関連行事等

記録映画の上映

- ・ 期 日 9 月 12 日(土) 10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 15:30
- ・ 作 品 「かねづくり - よみがえる玉鋼」、 「日本刀物語」
- ・ 会 場 視聴覚ホール
- ・ 参加者 午前 30 人 午後 40 人

実演

- ・ 期 日 9 月 13 日(日) 10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 15:30
- ・ 内 容 柄巻実演
- ・ 実 演 飯山隆司氏
- ・ 見学者 午前 70 人 午後 60 人

実演

- ・ 期 日 9 月 20 日(日) 10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 15:30
- ・ 内 容 刀剣研磨実演
- ・ 実 演 白田 修氏

・見学者 午前120人 午後100人

実演

・期 日 9月21日(月) 10:00~12:00 13:30~15:30
・内 容 刀身彫刻実演
・実 演 橋本太郎氏
・見学者 午前70人 午後60人

実演

・期 日 9月22日(火) 10:00~12:00 13:30~15:30
・内 容 組紐実演
・実 演 有職組紐「道明」のみなさん
・見学者 午前50人 午後50人

実演

・期 日 9月23日(水) 10:00~12:00 13:30~15:30
・内 容 白鞘製作実演
・実 演 堀越隆夫氏
・見学者 午前70人 午後60人

実演

・期 日 9月27日(日) 10:00~12:00 13:30~15:30
・内 容 銘切り実演、土置き実演
・実 演 下島房宇氏、石田國壽氏
・見学者 午前70人 午後70人

名 称	第 26 回「むかしの勉強・むかしの遊び」展
会 期	平成 2 8 年 1 月 1 6 日 (土) ~ 2 月 2 8 日 (日) 開催日数 3 6 日間

展示の概要



昭和 30 年代から 50 年代にかけての暮らしの様子がわかる道具や、学校・子どもたちの遊びに関する資料を展示し、現在の子供たちに昔の暮らしの様子を伝えました。その際、展示資料を「おじいさん・おばあさんが子どものころ(昭和 30 年前後)」「お父さん・お母さんが子どものころ(昭和 40 ~ 50 年代)」と時代区分をし、展示しました。

時代ごとに「生活道具」「勉強」「遊び」の資料を展示し、当時の暮らしの様子を振り返ることができるようにしました。

また、資料を単に展示するだけでなく、「見やすい」「分かりやすい」展示を心掛け、小学校第 3・4 学年における学習内容に対して効果的なものとししました。

アイキャッチは、1960 年代の「Victor Hi-Fi Stereo Audiola」を展示しました。また特集展示は、「ベーゴマとその文化」とし、ベーゴマ本体やそれと遊び方が類似する遊びを展示しました。

展示構成

- ・ 大型展示装置による実物展示
- ・ 駄菓子屋・台所・居間・教室
- ・ おじいさん・おばあさんが子どものころ
- ・ 昭和 30 年前後の「暮らしの中の道具」「学習用具」「遊び道具」の展示
- ・ お父さん・お母さんが子どものころ
- ・ 昭和 40 年代から 50 年代の「暮らしの中の道具」「学習用具」「遊び道具」の展示
- ・ 大型電化製品の展示
- ・ アイキャッチ
- ・ Victor HiFi Stereo Audiola
- ・ 特別展示・ギャラリー展示
- ・ ベーゴマ本体や類似した遊び

主な展示資料及び資料点数

- ・ ビクター HiFi ステレオ、パソコンほか 2 5 0 点

入館者数 1 5 , 0 9 8 人 (1 日平均 4 1 9 人)

印刷物

・パンフレット	A 4 判	6,500 部
・チラシ	A 4 判	5,000 部

関連事業

- 「なつかしい昭和の自動車」展
- ・ 期日 平成 2 8 年 2 月 2 0 日 (土) 9:00 ~ 15:30
 - ・ 場所 エントランスコート
 - ・ 展示車両 6 台 みずしま TM5F ダイハツ SKC7 他
 - ・ 開催日入館者 310 人

名 称 第42回企画展
「妖怪 - 闇にひそむ不可思議なるもの - 」

会 期 平成27年7月18日(土)～8月30日(日)
開催日数36日間

展示の概要



近年、各地で妖怪に関するイベントや展覧会が催されています。また、妖怪を主人公にしたアニメーションのキャラクターが子供たちの間で流行し、世はまさに「妖怪ブーム」です。それでは、「妖怪」とは何なのでしょう。

今回の企画展では、「妖怪」の歴史を紐解きながら、人々の間でどのように考えられ、どのように意識が変わっていったのかを中心に展示を構成し、妖怪の実態に迫る企画としました。

展示構成

- 零 「妖怪」を科学した人たち
- 壹 「妖怪」の起源
- 弐 「妖怪」あらわる
- 参 姿をあらわした「妖怪」たち
- 肆 跳梁する「妖怪」たち
- 伍 「幽霊画」の世界～井上円了コレクション～
- 陸 川越周辺の「妖怪」

主な展示資料及び資料点数

- ・井上円了肖像画(井上円了研究センター蔵)
- ・日本霊異記(東洋大学附属図書館蔵)
- ・百鬼夜行圖(東洋大学附属図書館蔵)など35点

入館者数 14,370人(1日平均399人)

印刷物

- ・ポスター A2判 400部
- ・リーフレット A4判 19,000部
- ・パンフレット A4判8頁 3,500部
- ・展示図録 A4判72頁 1,500部

関連事業

歴史講座

- ・期 日 8月2日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 天ヶ嶋 岳(当館職員)
- ・演 題 「妖怪の正体」
- ・参加者 81人
- ・期 日 8月9日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 宮原一郎(当館職員)
- ・演 題 「川越藩神隠し事件を追え」
- ・参加者 62人

- ・期 日 8月23日(日) 午後1時30分から3時30分
- ・講 師 三浦節夫氏(東洋大学教授)
- ・演 題 「井上円了の妖怪学入門」
- ・参加者 65人

特別資料解説「妖怪資料を語る夕べ」

- ・期 日 8月16日(日) 午後6時00分～午後7時30分
- ・講 師 天ヶ嶋 岳(当館職員)
- ・参加者 34人

(2) ふるさとのまつりコーナー展示

展 示 名	期 間
南田島の足踊り	1/24(土) ~ 4/23(木)
お太刀洗い	4/25(土) ~ 7/23(木)
古谷本郷の獅子舞	7/25(土) ~ 10/22(木)
筒粥の神事	10/24(土) ~ 1/21(木)
中福の神楽	1/23(土) ~ 4/21(木)

(3) ギャラリー展示

展 示 名	期 間
重要伝統的建造物群保存地区パネル展示	7/25(土) ~ 8/16(日)
わたしたちの郷土川越展	11/7(土) ~ 12/13(日)
川越線開業 75 周年・電化 30 周年	12/16(水) ~ 1/31(日)

6 . 教育普及事業

(1) 講座・教室等の開催

子どもを対象とした事業

・ 子ども博物館教室

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。特に1日かけて実施する事業である。

・ 子ども体験教室

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。毎月第2・第3の土曜日か日曜日に午前・午後の2回実施する事業である。

・ 夏休み子ども体験

夏休み期間中に、博物館で楽しく体験できる場を提供することで、歴史や文化財に対する理解や関心を深めることを目的としている。

・ 遊びの時間

夏休み期間中に、博物館で昔の子どもたちの遊びを体験することで、博物館に親しんでもらうことを目的とする。

主な遊びは、水ヨーヨー・笹舟・手作りおもちゃ（ビーズアクセサリ・お手玉・折り紙）・紙芝居・こま・ベーゴマ・メンコ・ビー玉・おはじき・輪投げ・割り箸鉄砲などである。

大人を対象とした事業

・ 古文書講座初級編

初心者を対象に、江戸時代の簡単な古文書を読み解き、独特なくずし字に親しむことで、古文書への興味と関心を高めることを目的とする。

・ 古文書講座中級編

川越に残る江戸時代の古文書を読み解いていくことで、郷土に対する興味と関心を高めることを目的とする。

・ 博物館歴史講座

川越の歴史と文化について理解を深め、歴史に親しむ契機を作ることを目的とする。

・ 土偶作り教室

土偶の製作を通じて、当時の人々の思いや願いに触れることで、歴史に親しむ契機となることを目的とする。

・ 野外博物館教室

地域の伝統文化等を見学することにより、地域の伝統文化の再発見を促し、郷土の歴史や文化に関心を持ってもらうことを目的とする。

・ 民俗芸能実演

指定無形民俗文化財の実演を通じて、川越に伝わる民俗芸能に親しむ機会を提供し、文化財保護の高揚に資することを目的とする。

《子どもを対象とした事業一覧表》

事業名	開催日	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内容	講師	
子ども体験教室	1	4月11日 土	無	-	134	10	144	火おこし体験	館職員
	2	4月25日 土	60	60	100	6	106	まが玉を作ろう	館職員
	3	5月9日 土	60	60	100	13	113	あいぞめでハンカチ作り	川越唐棧手織りの会
	4	5月16日 土	40	40	76	22	98	よろいを着て武士の世界へタイムスリップ	獅子の会
	5	5月30日 土	40	40	75	20	95	茶道体験	川越茶友会
	6	6月20日 土	60	60	105	20	125	あいぞめでハンカチ作り	川越唐棧手織りの会
	7	7月4日 土	20	20	32	13	45	ミニまこも馬作り	館職員
	8	7月11日 土	60	60	112	12	124	うちわを作ろう	館職員
	9	9月12日 土	30	30	53	15	68	布ぞうりを作ろう	館職員
	10	10月3日 土	40	39	54	17	71	香りを聞く - 香道体験	お香の会
	11	10月24日 土	40	12	20	17	37	水引で飾りを作ろう	武蔵宏子氏
	12	11月7日 土	40	41	79	28	107	和楽器体験 - 三味線・琴に挑戦 -	三曲会・藤の会
	13	11月21日 土	40	36	69	23	92	花を遊ぶ いけばな体験	草月会埼玉県支部
	14	12月12日 土	40	40	69	20	89	お正月飾りをつくろう	小峯吉衛氏
	15	12月19日 土	40	40	76	15	91	ミニ掛け軸作り	樋口典子氏
	16	1月9日 土	30	30	50	8	58	まゆ玉飾りを作ろう	館職員
	17	1月16日 土	60	34	59	14	73	土笛・土鈴作り	館職員
	18	2月13日 土	無	-	121	16	137	昔の道具を使ってみよう	館職員
	19	2月20日 土	無	-	128	15	143	昔の道具を使ってみよう	館職員
	20	3月12日 土	30	30	50	17	67	和紙作りに挑戦	谷野裕子氏
	21	3月19日 土	40	34	61	16	77	わら細工に挑戦	市民ボランティア
	合計		706	1,623	337	1960			
子ども博物館教室	1	6月13日 土	30	30	50	6	58	はにわを作ろう	川越縄文土器の会
	2	8月22日 土	20	17	30	6	36	親子で木をつかって遊ぼう	川越市建具組合
	3	3月5日 土	20	20	26	8	34	昔の織物に挑戦(弥生マフラー)	機織り委員会
	合計		70	67	106	20	126		
夏休み子ども体験	1	7月23日 木	60	60	121	8	129	ミニ弥生土器を作ろう	館職員
	2	7月29日 水	40	40	35	0	35	探検！となりのまちの博物館	館職員・見学先の館職員
	3	8月5日 水	30	30	44	3	47	ミニ灯籠を作ろう	館職員
	4	8月25日 火	20	20	29	10	39	エコテープで縄文ガジェットを作ろう	機織り委員会
	合計		150	150	229	21	250		
夏休み遊びの時間	1	7月25日 土	無	-	70	14	84	紙芝居、コマ回し、わりばし鉄砲作り手作りアクセサリー等	機織り委員会・市民ボランティア・学芸員実習生
	2	7月26日 日	無	-	108	14	122	紙芝居、コマ回し、わりばし鉄砲作り手作りアクセサリー等	機織り委員会・市民ボランティア・学芸員実習生
	合計			178	28	206			
子ども体験事業合計					2,136	406	2542		



子ども体験教室「よろいを着て
武士の世界へタイムスリップ」
本丸御殿にて



夏休み子ども体験
「親子で木をつかって遊ぼう」
博物館体験学習室にて

《大人を対象とした事業一覧表》

事業名	NO.	開催日	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内容	講師	
古文書講座	1	5月24日	日	18	30	18	18	古文書講座初級編	館職員(宮原)	
	2	5月31日	日	18	30	13	13	古文書講座初級編	同上	
	3	6月7日	日	18	30	14	14	古文書講座初級編	同上	
	4	11月1日	日	18	14	13	13	古文書講座上級編	元県立図書館副館長重田正夫	
	5	11月8日	日	18	14	10	10	古文書講座上級編	同上	
	6	11月15日	日	18	14	10	10	古文書講座上級編	同上	
		合計		108	132	78	0	78		
博物館歴史講座	1	4月19日	日	80	104	80	2	82	古代の入間郡	所沢市埋蔵文化財センター所長 根本靖
	2	4月26日	日	80	104	79	3	82	古代の入間郡	坂戸市歴史民俗資料館館長 加藤恭朗
	3	5月10日	日	80	104	77	4	81	古代の入間郡	大東文化大学教授 宮瀧交二
	4	8月2日	日	80	106	81	4	85	妖怪のヒミツ	館職員(天ヶ嶋)
	5	8月9日	日	80	106	62	2	64	妖怪のヒミツ	館職員(宮原)
	6	8月23日	日	80	106	65	4	69	妖怪のヒミツ	東洋大教授 三浦節夫
	7	10月11日	日	80	113	72	4	76	開館25周年 小堀遠州	館職員(井口)
	8	10月25日	日	80	113	63	3	66	開館25周年 小堀遠州	深谷信子
	9	11月8日	日	80	113	53	3	56	開館25周年 小堀遠州	五島美術館理事 学芸部長 名児耶明
	10	2月7日	日	80	98	86	3	89	川越の古代	末木啓介 県立嵐山史跡の博物館
	11	2月14日	日	80	98	75	2	77	川越の古代	富元久美子 飯能市教育委員会文化財専門調査員
	12	2月21日	日	80	98	79	3	82	川越の古代	館職員(天ヶ嶋)
		合計		960	1,263	872	37	909		
講演会	1	4月12日	日	80		363	6	369	開館25周年シンポジウム 古代入間郡の役所と道	
	2	8月16日	日	42	35	34		34	妖怪のヒミツ 特別資料解説 資料を語る夕べ	館職員(天ヶ嶋)
	3	10月10日	日	80	91	91	3	94	開館25周年 小堀遠州	小堀宗実家元
	4	9月12日				70		70	新作名刀展 実演 全6回+映画	
		合計		202	126	558	9	567		
講座・講演会合計				1,270	1,521	1,508	46	1,554		

事業名	開催日	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内容	講師	
縄文土器作り教室	1月30日	土	20	19	17	7	24	1日かけて縄文土器を作ります	川越縄文土器の会
	合計		20	19	17	7	24		
野外博物館教室	4月18日	土	30	44	28	3	31	古代武蔵国府と国分寺に行く	館職員(3名)
	9月20日	日	20	21	19	2	21	ふるさとの祭り探訪 - ほろ祭り	
	10月31日	土	20	20	16	2	18	探訪中世城郭	
	11月18日	水	20	11	9	1	10	埼玉の土器を見る 比企郡編	
	合計		90	96	72	8	80		
教室合計				110	115	89	15	104	
事業名	開催日	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内容	講師	
民俗芸能実演	11月3日	火	無	-	192	28	220	川越に伝わる民俗芸能を紹介します。	南大塚もちつき踊り
大人対象事業合計					1,789	89	1,878		



野外博物館教室
「ふるさとの祭り探訪～ほろまつり～」



博物館歴史講座
開館25周年記念特別展
「小堀遠州と川越藩」

(2) 博物館ボランティア

ジュニアボランティア

目的

家庭、学校、地域社会が一体となって青少年の豊かな人間性や社会性を育てていくことが強く求められている中で、ボランティア活動の重要性が一層高まっている。次代を担う子どもたちが、率先してこのような活動に参加できる機会を提供し、何事にも意欲的に取り組む心を育てることをねらいとする。

内容

子ども体験教室の手伝い（受付、参加者の活動支援、後片付け等）

活動日時

子ども体験教室開催日（午前10時～12時、午後1時30分～3時30分）

対象

小学校5年生～高校生までの児童・生徒

平成27年度 応募者11人

（小5：1名、小6：1名、中1：4名、中2：1名、中3：1名、高1：3名）

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

市民ボランティア

目的

いろいろな技術や特技を持った市民や団体の方に、ボランティアとして当館主催事業に協力していただくことで、事業内容の充実と事業運営の効率化を図る。

ボランティア活動をとおして、博物館活動への理解とボランティア間の交流を深める。

登録方法

一般公募をし、ボランティア活動説明会に参加した後、当館の事業運営の方針と活動の趣旨に同意した方を名簿に登録する。平成27年度登録者42名

主な活動事業及び活動内容

事業名	活動内容
子ども体験教室、夏休み子ども体験、遊びの時間	体験活動の支援及び指導、資材の準備、当日の運営、後片づけ
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小・中学校児童・生徒への学習支援（主に小学校3年生）
野外博物館教室等	受付、引率補助
歴史講座等	受付
蔵造り資料館ガイド	15分程度の簡単なガイド
本丸御殿ガイド	15分程度の簡単なガイド

その他

ボランティア従事中及び往復の交通に関わる傷害については、ボランティア活動保険の対象とする。謝金、交通費、食料費等の支給はない。

(3) 博物館同好会

目的

生涯学習の場として多様な学習機会を提供し、市民参加による博物館活動の拡充を図る。

講座・教室等の企画・運営に協力し、教育普及活動の内容の充実と事業運営の円滑化を図る。

登録団体

原則として、当館の講座・教室等の参加者を基盤として構成された団体で、博物館活動の趣旨を理解し協力できると認められる団体。

平成 27 年度同好会

川越縄文土器の会、川越唐棧手織りの会、華の会、川越古文書同好会、機織り委員会
講座・教室等への協力

事業名	事業内容	活動内容	活動日	同好会名
子ども体験教室	あいぞめでハンカチ作り	講師	5/9 (土) 6/20 (土)	川越唐棧手織りの会
子ども博物館教室	はにわを作ろう	講師	6/13 (土)	川越縄文土器の会
夏休み子ども体験教室	エコテープで縄文ポシェットを作ろう	講師	8/25 (火)	機織り委員会
子ども博物館教室	昔の織物に挑戦	講師	3/5 (土)	機織り委員会
縄文土器作り教室	縄文土器作り	講師	1/30 (土)	川越縄文土器の会
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小・中学校児童・生徒への学習支援 (主に小学校3年生)	支援	1/20 (水) ~3/9 (水)	川越唐棧手織りの会 華の会

機織り実演・体験 (体験学習室)

裂き織実演・体験 毎週火・水曜日 午後1時~3時(華の会)

唐棧実演・体験 毎週木・土・日 午前10時~12時、午後1時~3時(川越唐棧手織りの会)

(4) 松平大和守家文書を読む会

目的

明和4年(1767)から約100年間川越城主であった松平大和守家の日々を記録した「松平大和守家記録」の翻刻を行う。

登録方法

古文書講座中級編を受講した後、趣旨に同意した受講生を中心に登録

活動日時

毎月第2火曜日を基本とした午前10時30分~午後3時30分

活動成果

明和7年と同8年の2年分を翻刻。

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

7. 学校教育との連携事業

(1) 学校教育との連携事業

目的

小・中・高等・特別支援学校等の社会科等の教科並び総合的な学習の時間等の領域の学習内容に応じた学習支援に努める。

学校の利用状況

年度 項目	博物館				本丸御殿				蔵造り資料館				
	学校	引率者	児童生徒	利用者	学校	引率者	児童生徒	利用者	学校	引率者	児童生徒	利用者	
小学校	川越市内	73	333	6,621	6,954	9	83	595	678	10	89	933	1,022
	埼玉県内	120	591	8,899	9,490	52	258	3,897	4,155	88	441	6,450	6,891
	埼玉県外	6	33	331	364	4	26	277	303	7	35	415	450
	合計	199	957	15,851	16,808	65	367	4,769	5,136	105	565	7,798	8,363
中学校	川越市内	7	22	415	437	7	20	570	590	4	7	212	219
	埼玉県内	53	346	6,154	6,500	54	351	6,105	6,456	51	336	5,311	5,647
	埼玉県外	63	468	6,356	6,824	68	487	6,861	7,348	66	476	6,319	6,795
	合計	123	836	12,925	13,761	129	858	13,536	14,394	121	819	11,842	12,661
特別支援 学校等	川越市内	5	37	80	117	3	14	47	61	2	11	32	43
	埼玉県内	9	44	106	150	7	30	68	98	7	27	52	79
	埼玉県外	3	27	74	101	3	27	74	101	3	27	74	101
	合計	17	108	260	368	13	71	189	260	12	65	158	223
幼稚園 保育園	川越市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	川越市内	0	0	0	0	1	5	30	35	0	0	0	0
	埼玉県内	1	1	35	36	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	3	14	371	385	4	16	413	429	3	12	408	420
	合計	4	15	406	421	5	21	443	464	3	12	408	420
大学	川越市内	7	7	155	162	7	7	155	162	4	4	92	96
	埼玉県内	1	10	115	125	1	10	115	125	1	10	115	125
	埼玉県外	3	11	81	92	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	11	28	351	379	8	17	270	287	5	14	207	221
総数	354	1,944	29,793	31,737	220	1,334	19,207	20,541	246	1,475	20,413	21,888	

バス利用による博物館学習

概要

バス利用を希望する学校に借上バスを配車し、児童生徒の送迎を実施
各学校の社会科年間指導計画に位置づけた学習として実施
各学校の要望に応じた博物館学習の支援
小学校第3学年の学習に応じた企画展の開催や体験活動の実施
館職員や学習アドバイザー（市民ボランティア）による学習支援

状況

	小学校第6学年・中学校	小学校第3学年
実施期間	平成27年5月1日(金)～6月12日(金) 平成27年11月4日(水)～11月18日(水)	平成27年1月20日(水)～3月9日(水)
実施日数	18日間 ・バスを利用した日数：15日	18日間 ・バスを利用した日数：15日
配車台数	延べ30台(1日2台×15日)	延べ30台(1日2台×15日)
学校数	31校/小学校32校中	32校/32校中
児童生徒数	2,941名	3,008名

小学校社会科「県内の特色ある地域」の学習を目的とした学校への支援

概要

校外学習で博物館等の施設を利用する際の資料解説等の支援

学習のねらいに迫る効果的な見学地・見学経路・見学内容等の紹介
博物館等の施設での学習を支援する「学習カード」の開発・配布
授業で使える教材や情報の提供、人材の紹介

状 況

項目館種	博 物 館	蔵造り資料館	本丸御殿
利用学校数	120校	88校	52校
児 童 数	8,899名	6,450名	3,897名

博物館職員による訪問授業

概 要

博物館等の施設に訪問できない学校を対象とした学習支援
訪問授業で利用できる資料の作成

状 況

校外学習の学習計画を立案する際のアドバイザーとしての派遣
県立盲学校での体験活動の支援

	のべ 学校数	のべ 学級数	学 年	教科等
小 学 校	8	20	3年(1), 4年(3), 6年(4)	国語1, 社会6, 総合1
中 学 校	4	14	1年(1), 2年(3)	社会3, 総合1

上記以外として県立埴保己一学園(小・中・高等部)へ社会科の授業に出向いた

(2) 教員対象の連携事業

目 的

川越市に勤務する小・中・高等・特別支援学校の教員を対象とした研修会を企画
・運営し、積極的な博物館活用を推進できる教員の育成に努めること。

博物館利用研究委員会

概 要

学校教育での博物館活用について、様々な教科・領域で効果的な活用を推進する
ための研究組織

研究委員は川越市立小・中学校教員14名で構成

「博物館資料を活用した授業づくり」を研究主題とし、博物館で行う授業と、学
校に赴いて授業を支援する訪問授業の在り方を研究

「わたしたちの郷土川越展」の開催

状 況

回	実施日	主 な 活 動 内 容
1	7月8日(水)	平成25・26年度の取り組みについて 今年度の研究概要につ いて 今年度の計画について 分科会 本年度の研究について の共通理解

2	9月30日(水)	問授業について 博物館活用指導者研修会について 分科会 実践事例発表者の確認
3	10月27日(火)	博物館資料を活かした授業について 博物館活用指導者研修会 について 各研究部会による分科会・全体像の確認・各委員が 担当する頁の確認
	10月23日(金)	わたしたちの郷土川越展 作品審査
	11月7日(土) ~ 12月13日(日)	わたしたちの郷土川越展 31日間 13,079人
4	11月25日(水)	博物館活用実践報告 講義：「校外学習で学ぶ川越と学習先」
5	3月1日(火)	授業実践報告 分科会 今年度のまとめと来年度の研究について

川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー

概要

川越市教職員研修の一環として実施した悉皆研修
川越市に勤務する教員として理解しておくべき郷土の歴史や現状等について
座学とフィールドワークを中心とした研修

状況

実施日	参加校	参加者	主な内容
8月26日(水) 9:00~16:30	50校	59名	川越の歴史について知り、人々を惹きつける町並みがどのように形成されてきたかを学び、川越に対する誇りを育み、学校教育に生かす

授業に役立つ博物館を活用した体験的な学習研修会

概要

川越市教職員研修の一環として実施した希望研修
企画・運営・当日の講師等、博物館が中心となって実施
社会科学習で活用できる体験活動の実施

状況

実施日	参加校	参加者	主な内容
8月19日(水) 9:00~12:00	5校 (小) 4 (中) 1	5名 (小) 4 (中) 1	川越における原始古代からの機織り文化や江戸期の絹織物、開国期の綿織物について学び、糸車を使って糸を紡ぐ作業や機織りの作業を実際に見聞き・体験する機会を通して、学校教育の中でたびたび出てくる「機織り」についての体験的理解を図る

(3) 研修会等の受け入れ

目 的

学校や各種行政機関、博物館関係者等による実習・研修・調査等への要請に応じ博物館活用に関わる指導者の養成や、情報の提供・発信等に努めること。

川越市立小・中学校初任者研修

概 要

初任者研修の施設体験研修の一環として実施

教育センターが企画し、講師として博物館職員が担当

博学連携の実態を知り、博物館を活用した学習ができる教員の育成を目的とした研修

状 況

実施日	校 種	参加者	主 な 内 容
7月31日(金)	小学校	39名	川越市立博物館における博学連携の取組 常設展示室の見学
13:30～16:30	中学校	20名	

埼玉県教員初任者研修

概 要

埼玉県が実施している施設体験研修。

研修生の希望により受け入れ、2日間の博物館業務研修を実施。

実施期間	校 種	参加者	主 な 内 容
8月5日(水)	県立川越女子高等学校	1名	受付業務 教育普及活動に関する業務 資料の管理・保存に関する業務
8月19日(水)	県立川越高等学校	1名	
8月18日(火) ・19日(水)	県立川島ひばりが丘特別支援 学級	1名	

社会体験事業

概 要

川越市立中学校及び大学の要請による、博物館業務体験の実施

中学校は1校に付、2・3名の生徒を受け入れ、2・3日間の実施。大学は15日

間 状 況

	実施日	期間	学 校 名	参加者	主 な 内 容
1	7月14日(火)・15日(水)	2日	城西川越中学校	3名	受付業務 ・博物館 ・川越城本丸御殿 寄贈資料の整理 ・資料カード作成 ・クリーニング 清掃活動 教育普及業務の補助
2	9月15日(火)～17日(木)	2日	福原中学校	2名	
3	11月5日(木)～6日(金)	2日	川越第一中学校	2名	
4	1月26日(火)・27日(水)	2日	東中学校	2名	
5	2月9日(火)・10日(水)	2日	霞ヶ関東中学校	2名	
6	2月16日(火)・17日(水)	2日	砂中学校	2名	
7	2月18日(木)・19日(金)	2日	初雁中学校	2名	
8	2月18日(木)・19日(金)	2日	名細中学校	2名	
9	2月23日(火)・24日(水)	2日	大東中学校	2名	

姉妹・友好都市交流事業

概 要

姉妹・友好都市交流事業の一環として、中学生を派遣及び受入れする際の事前研修として川越の歴史の概要を学ぶ。

状 況

	実施日	団 体 名	参加者	主 な 内 容
1	7月22日(水)	中札内村中学生訪問団	23名	常設展示室の案内
2	7月30日(木)	少年の翼	52名	常設展示室の案内
3	8月4日(火)	セーレム市訪問団	21名	川越の歴史の概要についての説明

(4) 博物館実習

大学名	人数	実 習 期 間
東洋大学	1	7月22日(水)～8月4日(火) 12日間
清泉女子大学	1	

8. 資料の収集保管・活用

(1) 資料の収集

平成27年度購入資料

資 料 名	点数	備 考
御上京御供名前控	1	

平成27年度寄贈資料

寄 贈 件 数	資 料 点 数	内 訳
12件	69点	美術・工芸 1点 歴史・民俗 51点 古文書 17点

平成 27 年度末現在の収蔵資料（整理済分）

区 分	点 数
美術・工芸資料	2 4 5 点
歴史・民俗資料	2 1 , 1 0 5 点
古文書	1 6 , 4 6 6 点
図書資料	3 7 , 7 6 1 点

(2) 資料目録の作成 『収蔵文書目録(14) 大谷家文書・梅田家文書・光西寺松井家文書』

『川越藩松平大和守家記録 一』

『川越喜多町名主御用日記 一』

(3) 資料特別利用 1 1 4 件 2,0 7 9 点

(4) 資料館外貸出 6 件 3 6 点

(5) 撮影・取材協力

- ・ 博物館 1 0 件
- ・ 本丸御殿 2 4 件
- ・ 蔵造り資料館 6 件

9 . 利用案内

(1) 入館料

区分	博物館	川越城 本丸御殿	蔵造り 資料館	共通入館(観覧)券			
				博物館 美術館	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館 美術館	博物館 本丸御殿 蔵造り資料館 美術館 まつり会館
一般	200円	100円	100円	300円	300円	450円	650円
	160円	80円	80円				
大学生 高校生	100円	50円	50円	150円	150円	220円	450円
	80円	40円	40円				

下段：20名以上の団体料金

中学生以下無料

開館時間

午前9時から午後5時まで(但し、入館は午後4時30分まで)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日の火曜日)

第4金曜日(休日を除く)

年末年始(12月29日~1月3日)

蔵造り資料館は1月2日から開館

館内消毒(6月下旬)特別整理期間(12月下旬)

館内消毒・特別整理期間は、博物館のみ休館

開館時間・休館日は、博物館・川越城本丸御殿・川越市蔵造り資料館とも原則として同じ